

## 留学生としての1年間

サーマートギット ナットニシャー (タイ・タマサート大学)

タイからの交換留学生のサーマートギット・ナットニシャーです。去年、9月から、お茶の水女子大学のグローバル文化学環留学にさせていただきました。私は小さい頃から「最も効果的な言葉を勉強する方法は自分をその言葉の使う人々の中に置く」とずっと信じてきたので、いつか絶対日本に留学したいと思っていました。

そのため、日本に着いたばかりの頃は胸を膨らませるほど、毎日ドキドキしながら新しいことに挑戦していました。日本語はもちろんですが、素晴らしい文化や時々外国人の私が理解できないくらい細かくこだわる習慣など、教科書に載っていないこともたくさん勉強できました。芸術的な能力と見る目が必要な生け花や、留学生の皆とわいわい楽しく新潟県と群馬県へ旅行したことなど非常に印象に残っています。他にも、まだたくさんありますが、自分が参加できなく残念だったことも一杯でした。



これだけではなく、印象に残っていることは留学生に対してのサービスでした。留学生たちがよく知っている場所といえば、共通講義棟3の5階ではないでしょうか。そこはコンピューター、プリンター、そして留学生相談室が揃った場所です。私にとってとても便利で、助かる場所です。キャンパス内も心地よく、落ち着いた、勉強にいい環境だと思います。

勉強の方は、異文化についての科目は難しかったが、とても面白かったです。ヒューマンライブラリーで引き籠りの人のカウンセリングをする方や、生まれた時から小学校まで手話しか使っていない方などと話す機会もあって、とても勉強になりました。

日本にいる間中、多分、はっきり分かれた四季に慣れないので、ずっと体調があまりよくなかったです。倒れたこともあり、その時にはなんのためにここで我慢しているだろうと思うほどとてもホームシックになりましたが、皆のおかげでなんとか乗り越えられました。

「留学生活」は自分にとって、ただ勉強が終わって、帰国するというだけではなく、とても痛いくらい残念なことだと思います。勉強は教科書の中だけにあるのではなく、様々な所へ行ったり、味わったことない物を食べたり、新しいことに挑戦したからこそ、勉強になったのではないのでしょうか。多分、これは自分の日本ツアーの言い訳かもしれませんが、たくさん旅行しました。冬には東京中のライトアップや、イルミネーションの所を回って遊びました。お正月の頃は関西で過ごして、クリスマスを一人でお寺と神社で過ごして、ユニバーサルスタジオで憧れたハリー・ポッターの世界に入り込み、神戸で初詣しました。その日、雪の影響で東京に帰る予定より4時間ほど遅れて大変でしたが、素敵なお正月でした。春休みは九州と北海道へ行きました。九州へ行った時は一人で山の中にある温泉へ行きました。その時は初めて自然で心が癒されたと感じました。

この1年間、あっという間に経った時間でした。日々を堂々と過ごしたのに、振り返る度、1年という時間はより短いと感じました。この留学生としての1年間は、言語能力が上達しただけではなく、自分の世界を広げ、人生の成長時期だった、と胸を張って言えます。

